

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	多自然地域を後背地とする居住拠点都市の振興に関する調査研究事業に関する経費		担当部局庁	自治行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	地域自立応援課		課長 牧 慎太郎		
会計区分	一般会計		施策名	II-2 地域振興				
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条		関係する計画、通知等					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	わが国には、豊かな自然を有し、地域固有の資源(自然、温泉、歴史・文化等)を生かした雇用を創出している後背地に、一定の都市機能を有する中心部から通勤する住民が多数存在する地域がある。このような多自然地域を後背地に持つ居住拠点都市は、定住自立圏構想の中心市としては想定されていないものの、一定の都市機能を担い、固有の地域資源を持つ後背地を支える中心市としての機能を発揮しており、圏域全体に対して、その特性に着目した振興策を検討する必要がある。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	豊かな自然を有し地域固有の資源(自然、温泉、歴史・文化等)を有する地域(多自然地域)を後背地にもつ居住拠点都市を中心とする圏域全体に対して、その特性に着目した振興策を検討するため、居住拠点都市とその後背地の振興のあり方について実態調査、実証研究を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算				30	0	
		補正予算						
		繰越し等						
		計				30	0	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	調査研究費であり、定量的な成果指標を示すのは困難		成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査研究費であり、定量的な成果指標を示すのは困難		活動実績(当初見込み)		—	()	()	()
単位当たりコスト	算出困難なため、未記載		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	地域振興対策調査費	30	0					
	計	30	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・多自然地域を後背地とする居住拠点都市は、住民生活に必要な一定の都市機能を提供し、圏域全体を支えるベースキャンプとしての役割を担っている。居住拠点都市の衰退は、地域固有の資源を有する後背地にも多大な影響を与えることとなるため、その特性に着目した振興策を検討する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・外部委託業者の選定については、見積価格の精査等を行うとともに、低価格提示に対しての注意を払うこととしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・シンポジウムの開催等により、地方公共団体や圏域住民等に対する積極的な情報提供を行い、多自然居住拠点都市の振興策に対する理解を促進することによって、施策の実効性を高めていく。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
調査研究事業については、平成24年度限り。 平成25年度は、定住自立圏構想推進費の中で、圏域全体の活性化を目指した取組のモデル事例を構築する「『定住自立圏・多自然拠点都市圏』推進調査事業」を実施する予定であり、概算要求中。			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					